

初等科研修から帰ってきました！

令和5年4月20日～5月23日の34日間、東京・高松高等検察庁管内検察事務官初等科研修が実施されました。受講した松山地方検察庁の新規採用者4名に感想を聞いてみました。



約1ヶ月にわたった今回の初等科研修で、たくさんの同期に出会うことができました。一生涯この仕事に関わる上で、信頼でき、気兼ねなく話せる同期を見つけることができたことが一番の収穫だと思います。また、私たちのために時間をとって講義をしてくださった講師の方々、研修中面倒を見てくださった東京高検教養係の方々にもとても感謝しています。研修で学んだことを仕事で生かし活躍することで少しでも恩返しできればと思います。同期とのつながりを大事に、また研修で得た知識を活かして仕事に尽力していきたいと思えます。

初等科研修はあっという間の一か月だったなというのが一番の感想です。講義では、検察事務の概要や検察業務に必要な法律が中心で、普段の業務がどの段階にあたり、何を根拠としているかなどを知ることができました。中でも、模擬事件記録を用いて、補充的に必要な捜査は何か、また公判で重要となる証拠はどれかなどを実際に自分たちで検討した講義はとても楽しく心に残っています。同期とは、講義後にご飯を食べに行ったり、野球を観戦しに行ったりして親睦を深めることができました。また休日には、研修センターの最寄り駅から1駅の場所にある夢の国で遊び、リフレッシュをしていました。研修で得た知識はもちろん、同期とのつながりも大切にしていきたいです。

研修初日は「約1ヶ月もあるのか、長いな」と思っていたのですが最終日には他庁の同期と別れるのが寂しいくらいに充実した初等科研修でした。仕事の時間以外は基本的に自由なのでその日の講義が終わると同期と食事に行ったり買い物に行ったり、私の行った研修先には体育施設もあり皆でスポーツをすることも多かったです。検察庁のことを詳しく学べたり、同年代の人たちとの繋がりを作れたりしたとても充実した研修でした。

長いようであっという間な一ヶ月間でした。今後の検察事務官人生において必要な知識を得られただけでなく、一人の社会人として生活していく上で身につけるべきビジネスマナーを学びました。多くの研修員の方と交流し、横のつながりも作ることができとても濃く充実した研修でした。